

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E142E008		国文学史 (History of Japanese Classical Literature)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
選択	2	3	教育学部	前期		氏名 安道 百合子 E-mail y-andou@oita-u.ac.jp 内線 7535												
授業の概要	テキストを利用して、日本文学の史的変遷を概観する。具体的な影響関係のある作品を読み比べて時代の特徴の違い、文体の違いなどを考察する。中古・中世/近世については、レジュメ作成・発表の演習を課す。また、グループで「文学史かるた」を構想し、作成する。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 日本古典文学の史的変遷を理解する。																		
目標2 具体的な影響関係のある作品を読み比べて、時代の特徴の違いや文体の違いを説明できる。																		
目標3 文学作品の特徴を紹介するレジュメを作成して発表する。																		
目標4 「文学史かるた」を構想し、作成する。																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 歴史の時代区分と文学の時代区分																		
2 『雨月物語』浅茅が宿を読む。																		
3 『源氏物語』『今昔物語集』との読み比べ。文体の違い・影響を考える。																		
4 上代文学概要。教材としての『万葉集』。神話と『古事記』『日本書紀』																		
5 中古文学概論。和歌史。物語の始発。																		
6 中古文学概論。日記と物語。																		
7 中古・中世文学作品に関する演習、レジュメ発表(1)日記文学																		
8 中古・中世文学作品に関する演習、レジュメ発表(2)物語文学																		
9 中古・中世文学作品に関する演習、レジュメ発表(3)説話・軍記																		
10 『徒然草』読解																		
11 近世文学作品に関する演習、レジュメとスライド発表(1)近世前期																		
12 近世文学作品に関する演習、レジュメとスライド発表(2)近世後期																		
13 「文学史かるた」の構想																		
14 「文学史かるた」の作成																		
15 「文学史かるた」の成果発表																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	作品の特徴を紹介するレジュメを作成して発表する、個人での演習課題を課す。					工夫 その 他の											
	B:意見の表現・交換	学校教材として活用できる「文学史かるた」を構想して作成する、グループでの演習課題を課す。																
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安	準備	個人演習の準備をする。作品を通読して紹介する本文を選び、関連書籍を読み、文学史的な位置づけを考察して、レジュメを作成する(30h)。																
	学修	グループで相談しながら、かるた作成をする(15h)。																
	事後	授業内で扱った題材に関連する書籍を読んで、興味関心を広げる(15h)。																
	学修																	
教科書	『原色 新日本文学史 増補版』(秋山虔・三好行雄編著、文英堂、2016)																	
参考書	『あなたに語る日本文学史 新装版』(大岡信、新書館、1998) 『資料と解説日本文章表現史』(秋本守英編、和泉書院、2006) ほか適宜紹介する。																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	授業中の発言や小レポート	10%																
	文学史確認テスト	10%																
	二回の演習発表	50%																
	かるた作成の演習	30%																
注意事項	広く古典文学作品に興味を持ちおもしろさを見つけてほしい。																	
備考	古語辞典必携。 R2年度以降入学生については、3年次前期開講予定です。																	
リンク	URL																	